

レイシーたて型ポンプ P 型 取扱説明書

保証書付

保証書は、最終ページに刷り込まれていますので必ず記入を受けてください。

REI-SEA

 安全に関するご注意／ご使用前に、取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

REI-SEA

目次

はじめに	1
安全にお使いいただくために	1
取扱説明書に記載する記号について	1
必ず守ってください	2
お使いになる前に	2
運転するときには	5
製品概要	11
製造番号	11
各部の名称	11
設置するために	12
同梱品の確認	12
取り付け	12
取り付け方法	12
配管	13
配管方法	13
配線	15
配線方法	15
運転するために	17
運転の前に	17
運転方法	17
運転について	18
お手入れのしかた	20
ポンプ外観の清掃	20
インペラのお手入れ	21
ストレーナ・エルボ・	
ストレーナパイプのお手入れ	21
故障の対処方法	22
修理を依頼される前に	22
仕様	23
外形寸法	23
保証・サービスについて	24

はじめに

このたびはレイシーたて型ポンプP型をお買い上げいただきましてありがとうございました。

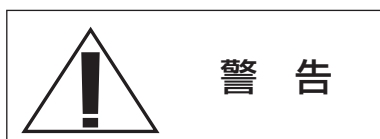
この取扱説明書は、お客様にレイシーたて型ポンプP型を安全で正しくお使いいただくためのものです。本機をお使いになる前には、必ず本書をよくお読みください。

お読みになった後は、本機をお使いになるかたがいつでも読むことができる場所に大切に保管してください。本機をゆずられる場合は、次に使用されるかたのために本書をポンプに付けておいてください。また、本書を読んでも、取扱方法が分からないときには、お買い求めの販売店または本書記載の当社にお問い合わせください。

安全にお使いいただくために

取扱説明書に記載する記号について

本書では、特に重要な事項や知っておいていただきたいことを、記号を用いて説明しております。それぞれの記号とその内容は次のとおりです。



警告事項を守らないと死亡や重傷に至る重大な事故を起こす恐れがあります。



注意事項を守らないとケガを負ったり、製品が損傷を起こす恐れがあります。



製品を使用するうえで、知っておいていただきたいことについて説明します。

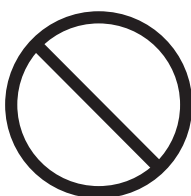
必ず守ってください

本製品を安全に正しくお使いいただくために、次のことから必ず守ってください。

お使いになる前に



活魚、観賞魚および水草用水槽以外の用途には使用しないでください。



このポンプは活魚、観賞魚および水草などの水槽用ポンプです。
(水・海水専用) その他の用途には使用しないでください。

燃えやすいもののそばに設置しないでください。



カーテンなどの燃えやすいもののそばや粉塵の発生する場所、腐食性を持ったガス(塩素ガスなど)の発生する場所での使用・保管は火災の原因や身体へ害を及ぼすことがあります。

このような場所では使用・保管しないでください。

湿気の多い場所で使わないでください。



本体を水につけたり、表面に水滴の生じるような湿気の多い場所で使うと、感電、ショートや火災が生じる恐れがあります。

ポンプを湿気の多い場所で使わないでください。

屋外や、湯気、ほこり、油煙などの多い場所、熱源の近く、高温(40℃以上)になるところに置かないでください。



屋外や、湯気、ほこり、油煙などの多い場所、熱源の近く、高温(40℃以上)になるところ、またはなる恐れのあるところに設置すると、火災や感電が生じる恐れがあります。

湯気、ほこり、油煙などの多い場所や熱源の近く、高温(40℃以上)になるところには、ポンプを設置しないでください。



警告

電源コードは大切に扱ってください。



電源コードに重いものを載せたり、加熱、加工、または引っ張ったりすると、電源コードがいたみ、感電や火災が生じる恐れがあります。

電源コードは大切に扱ってください。

分解したり改造したりしないでください。



ポンプを分解したり、改造したりすると、火災や感電が生じる恐れがあります。

ポンプが故障したり、破損したら、すぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。

使わないときは、コンセントを電源プラグから抜いてください。



長時間電源プラグを差し込んだままにすると、ほこりなどがプラグに付着して火災が生じる恐れがあります。

使わないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。

電源プラグを抜き差しするときは、必ず電源プラグ部を持って行ってください。

次のときは電源プラグを抜いてください。



感電の原因となることがありますので、水槽内に手を入れるとき、本製品をセットするとき、魚を出し入れするとき、点検・掃除などをするとき、器具を移動するとき、地震などのときには電源プラグを抜いてください。



コンセントの位置に注意してください。

コンセントに水滴がかかったり、水がコードを伝わってぬれると火災や感電を生じる恐れがあります。

コンセントは、水槽より充分に高い位置にあるコンセントを使用してください。

また、コードに水が伝わってモータに水が入らないように注意してください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電する恐れがあります。

電源プラグを取り扱うときは、よく水分を拭き取ってください。

大型魚には使用しないでください。

魚がポンプに接触し、ポンプが水中に落下したり、ケーシングや配管類が外れることがありますので、大型魚などその可能性がある魚には使用しないでください。

運転するときには



モータや電気部をぬらした場合は、絶対にポンプに触れないでください。



誤ってモータや電気部を濡らした場合（または水没した場合）触れると感電の危険があります。コンセントから電源プラグを抜いてください。

水没した場合は水から引き上げる前に電源プラグを抜いてください。また、その後の使用は絶対におやめください。

煙やこげくさい臭いがしたら、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。



煙やこげくさい臭いがしたまま使用すると、火災や感電が生じる恐れがあります。

煙やこげくさい臭いがしたら、すぐに電源プラグを抜きお買い求めの販売店にご連絡ください。

モータ部の樹脂カバーが変形・変色した場合、すぐに運転を中止してください。



運転中にモータ部の樹脂カバーが変形したり、色が変わったりした場合、そのまま運転を続けると火災・感電・故障の原因となります。すぐに電源プラグを抜き運転を中止してお求めになった販売店にご相談ください。

モータ、カラム、電源プラグ、電源コードに塩が付着したまま使用しないでください。



海水に使用する際、モータ、カラム、電源プラグ、電源コードに塩が付着します。塩が付着したまま使用を続けると火災・感電・故障の原因となります。

定期的に（1か月に1度）やわらかい布などでから拭きし、付着した塩を取り除いてください。



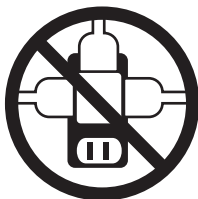
交流 100V 以外を使用しないでください。



本ポンプを交流 100V (50 または 60Hz) 以外で使用する
と、故障や火災が生じる恐れがあります。

本ポンプは、交流 100V (50 または 60Hz) 以外で使
用しないでください。

延長コードの使用やタコ足配線はしないでください。



延長コードを使用したりタコ足配線をする
と、火災が生じる恐れがあります。

延長コードの使用やタコ足配線はしないで
ください。

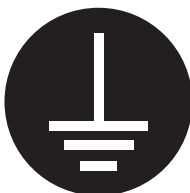


停止が頻繁に起きる場合は販売店にご相談ください。



ポンプの停止が頻繁に起きる場合は異常
がありますので、すぐに電源プラグを
コンセントから抜いてお求めになった
販売店にご相談ください。

アースを取り付けてください。

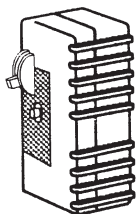


ポンプのアースを取り付け
ないで使用すると、感電する
恐れがあります。

アースは必ず専用アース線に
取り付けてください。

注 意

漏電ブレーカーを取り付けてください。



ポンプに漏電ブレーカーを取り付けずに使用すると、感電する恐れがあります。

ご使用の際は市販の漏電ブレーカーを取り付けてください。

運転中・運転直後はモータ部が高温になっていますので触れないでください。



ポンプ運転中・運転直後は、モータ部が高温になっています。冷えるまで素手で触れたりしないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。

水入れが完了する前に通電しないでください。



水槽にセットする前の空運転や、セット後も水量が少ない状態での運転は、火災や事故の原因となることがあります。

取り扱いはていねいに。

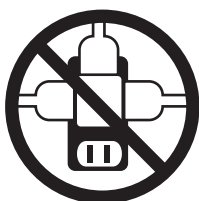


落としたり、ぶついたり、キズを付けないようにしてください。

火災や感電、事故が生じる恐れがあります。取り扱いはていねいに行ってください。

注 意

プラグを中途半端に差し込んでの使用やタコ足配線はしないでください。



プラグを中途半端に差し込んでの使用や、タコ足配線をすると、火災が生じる恐れがあります。

プラグを中途半端に差し込んでの使用や、タコ足配線はしないでください。

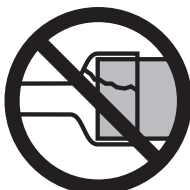
電機製品の近くでは使用しないでください。



お手入れのときや誤った使い方をしたときなどに水がかかる恐れがあり、火災や感電、電機製品の故障が生じる場合があります。

※電機製品などに水がかかり故障や事故が発生した場合の補償はいたしません。

口径の合わないホースや配管は使用しないでください。



口径の合わないホースを無理に接続したり、熱を加えてねじ込むなど無理な接続をすると、ホースの破損や水漏れが生じる恐れがあります。

口径の合ったホースを使用し、熱を加えないで接続してください。

小さいお子様に注意してください。



器具に触ったり、電源コードを引っ張ったり、水槽の中に手を入れたり、いたずらしないように注意してください。

注 意

ストレーナを取り付けて使用してください。



ストレーナを外したまま使用すると、魚などが吸込まれ、事故や故障の原因となります。

電源コードや電源プラグにキズやヒビが入ったものは使用しないでください。



電源コードや電源プラグにキズやヒビが入ったものを使用していると、火災などの原因となります。定期的に電源コードや電源プラグをコンセントから抜き、点検してください。

水または中性洗剤以外は使用しないでください。



本体カバーの汚れを落とす際は、やわらかい布でから拭きしてください。汚れが落ちにくい場合は、水または中性洗剤を少量しみこませた布で拭き取るようにしてください。

ベンジン、シンナー、灯油、みがき粉、非中性洗剤などを使用すると、製品をいためますので、水または中性洗剤以外は使用しないでください。

水・海水以外の液体、高温（40℃以上）の飼育水に使用しないでください。



水・海水以外の液体、高温（40℃以上）の飼育水に使用すると、故障する恐れがあります。

水・海水以外の液体、40℃以上の飼育水に使用しないでください。

注 意

ポンプの空運転は絶対にしないでください。



必ずポンプ配管内に、水または海水を満たした状態でご使用ください。水分がなくなり空運転状態になりますと摩擦により熱が発生してポンプ内が破損します。ポンプの空運転は絶対にしないでください。

ぬれたままポンプを逆さまにしないでください。



ぬれたままポンプを逆さまにしますと、モータ部に水が入り、故障の原因となります。ぬれたままポンプを逆さまにしないでください。

エアーストン使用時は水はねが起きないように注意してください。



ポンプの近くでエアレーションをした場合、水がはねてモータ内に水が入り込み故障の原因となることがあります。エアレーションをする場合には、水はねが起きないように注意してください。

またポンプが空気を吸わないようにストレーナの近くではエアレーションをしないでください。

カラムの穴に指などを入れないでください。



運転中カラムの穴に指や異物を入れたりしますとケガなどの原因となります。運転中カラムの穴に指や異物を入れないでください。

ケーシングを外した状態で運転しないでください。

ポンプ、カラムに塩が付着したまま使用しないでください。



海水に使用する場合、ポンプを海水から引き上げておくと海水の塩分が結晶します。

ポンプ、カラムに塩が付着したままの状態では運転しますと起動不良、オーバーロードが発生し、故障の原因となります。

ポンプを海水から引き上げるときは、塩分が結晶する前に清水などで洗い流してください。

製品概要

このレイシーたて型ポンプP型は、モータシャフトに装着されたインペラにより、水（海水）を吸込み側から吐出側へ送り出します。

※このポンプは水中ポンプではありません。

製造番号

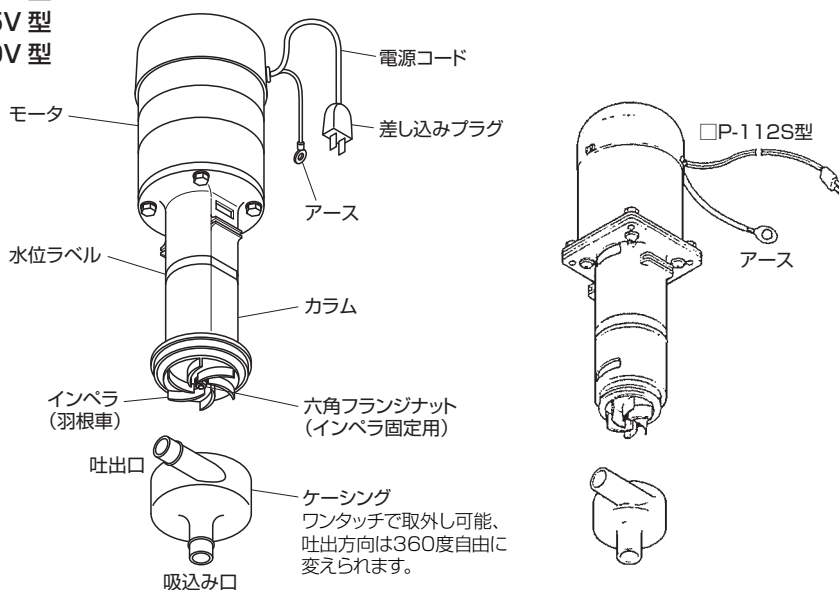
アフターサービスなどについてのご相談に対し的確な判断・処理をするためには、正しい製造番号が必要です。アフターサービスなどのお問い合わせには、必ず正確な製造番号をご連絡ください。製造番号①は、以下のような銘板に刻印してあります。



各部の名称

● ポンプ本体部

- ☐ P-315V 型
- ☐ P-425V 型
- ☐ P-450V 型

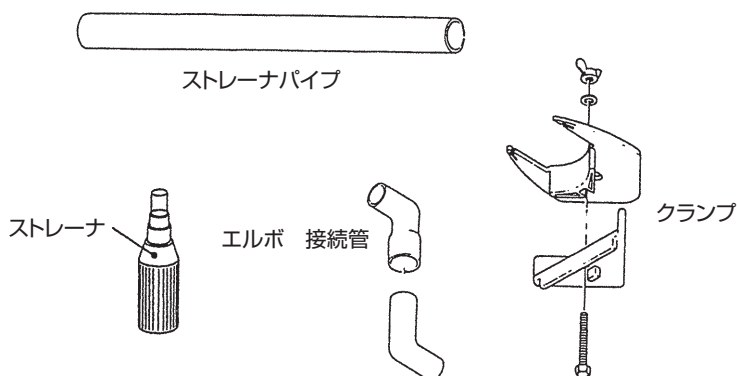


設置するために

同梱品の確認

次のものが揃っているか確認してください。欠品している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

● 付属品



取り付け

取り付け方法

1. ポンプの取り付けに適した環境を選ぶ。



⚠ 警 告

モータ部を水につけたり、表面に水滴の生じるような湿気の多い場所で使うと、感電、ショートや火災が生じる恐れがあります。

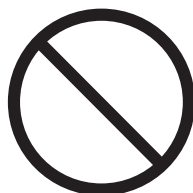
ポンプを湿気の多い場所で使わないでください。



⚠ 警 告

湯気、ほこり、油煙などの多い場所、熱源の近く、高温（40℃以上）になるところに設置すると、火災や感電が生じる恐れがあります。

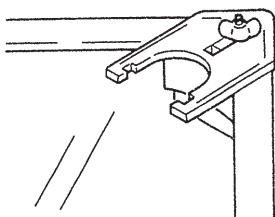
湯気、ほこり、油煙などの多い場所、熱源の近く、高温（40℃以上）になるところには、ポンプを設置しないでください。



⚠ 警 告

ポンプを不安定な水槽や傾いた水槽、振動するところに置かれた水槽に設置しないでください。ポンプが落ちたり、倒れたりしてケガをする恐れがあります。

ポンプは、安定した水平なところで振動がないところに置かれた水槽のコーナーに設置してください。

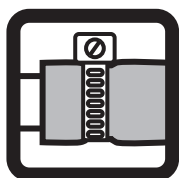


クランプを水槽のコーナーに取り付けます。取り付け方は、クランプの蝶ナットを緩め上下のクランプが水槽の枠をくわえるようにして取り付けます。ポンプを取り付けたとき落ちないようにしっかりと取り付けてください。

取り付けにあたっては次のことを守ってください。

- クランプは上下を分解してから水槽に取り付けてください。
- クランプの取り付けが完了してからポンプを取り付けてください。
- 先にポンプをクランプに取り付けしないでください。

配 管



⚠ 注 意

吸込み側の配管接続部にすき間があると、空気を吸込んで空運転になり故障・水漏れが生じる恐れがあります。

接続部のすき間をなくすために、接続部はホースバンドでしっかり固定してください。吐出側の接続部もホースバンドで固定してください。

⚠ 注 意

口径の合わないホースを無理に接続したり、熱を加えてねじ込むなどの無理な接続をすると、ホースの破損や水漏れが生じる恐れがあります。

口径の合ったホースを使用し、熱を加えないで接続してください。

配管方法

1. 配管用のホースを準備する。

■ ホース口径

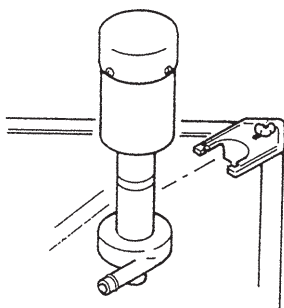
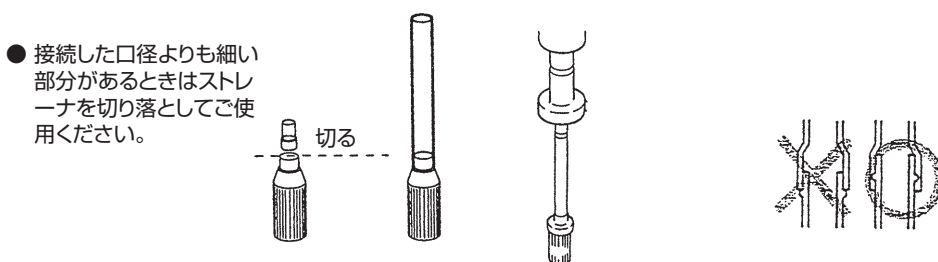
型 式	内 径	外 形
P-112S	φ 15	φ 19～φ 20
P-315V		
P-425V		
P-450V	φ 19	φ 23～φ 25

アドバイス

ホースは耐食性があり使用温度、ポンプ圧力に耐えられるものを使用してください。

本機のオプションとして、レイシーホース 1520(内径 15、外形 20)、1925(内径 19、外形 25) を販売しています。

2. ポンプにストレーナとエルボを図のように接続します。
なお、エルボを接続する場合には、突き当て部まで充分に押し込んでください。水槽が浅い場合、ストレーナパイプを切って使用してください。



3. ポンプ本体を図のように差し込み、ホースをエルボに接続します。

4. ポンプの配管が終わりましたら、お手持ちのろ過槽に吐出ホースを接続してください。

- ポンプの取り付けが終わりましたら、もう一度各部を点検してください。(ポンプが落ちないかどうか、ホースがしっかり接続されているかなど。)

注 意

コードに水がかからないようにしてください。コードに悪い影響を及ぼしたり、また、水がコードを伝わってモータやコンセントに入り込み、火災やモータ故障の原因となります。

注 意

ホース口を強く締め過ぎると、ホース口が破損する恐れがあります。
ホース口を締め過ぎないでください。

配 線



配線方法

⚠ 警 告

電源コードに重いものを載せたり、加熱、加工、または引っ張ったりすると、電源コードがいたみ、感電や火災が生じる恐れがあります。

電源コードは大切に扱ってください。

⚠ 注 意

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電する恐れがあります。

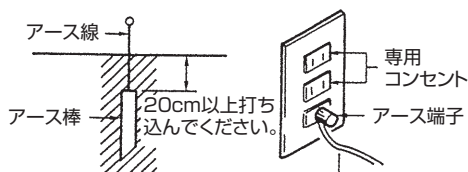
電源プラグを取り扱うときは、よく水分を拭き取ってください。

1. ポンプにアースを取り付ける。

⚠ 注 意

ポンプのアースを取り付けないで使用すると、感電する恐れがあります。

アースは必ず専用アース線に取り付けてください。

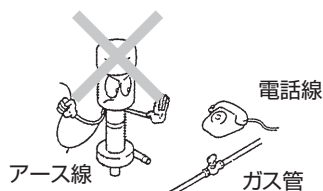


- 必ずアースを取り付けてください。アースを付けたり外したりするときは、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。ときどきアースがしっかり付いているか点検してください。

- アース棒をご使用のときは、できるだけ湿った地中に打ち込んでください。

⚠ 注 意

左記のようなところにはアース線を接続しないでください。



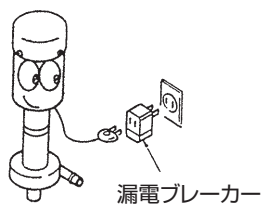
- アース端子付コンセントをご使用のときは、アース線の先端を確実に接続してください。

👉 アドバイス

アースの取り付け工事は電気工事店にご相談ください。

アースを付けたり外したりするときは、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。

2. 漏電ブレーカーを取り付ける。



⚠ 注 意

ポンプに漏電ブレーカーを取り付けずに使用すると、感電する恐れがあります。

ご使用の際は市販の漏電ブレーカーを取り付けてください。

運転するために

運転の前に

ポンプを運転する前に、もう一度各部を確認してください。

1. クランプがしっかりと取り付けられているか。

本書 1 2 頁「取り付け方法」をよく読み、クランプを正しい状態で設置してください。

2. 配管が正しくなされているか。

本書 1 3 頁「配管」をよく読み、正しい配管を行ってください。

3. ホースバンドに緩みがないか。

本書 1 3 頁「配管方法」をよく読み、ホースバンドで確実にホースを固定してください。

4. 飼育水の温度が 4 0℃以上になっていないか。



△ 注 意

40℃以上の飼育水に使用すると、故障したりする恐れがあります。

40℃以上の飼育水に使用しないでください。

5. ポンプの近くでエアレーションしていないか。または水の落下口はないか。

運転方法



△ 警 告

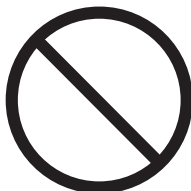
煙やこげくさい臭いがしたまま使用すると、火災や感電が生じる恐れがあります。

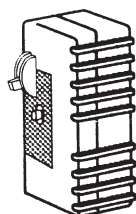
煙やこげくさい臭いがしたら、すぐに電源をプラグを抜きお買い求めの販売店にご連絡ください。

△ 警 告

ポンプを不安定な水槽や傾いた水槽、振動するところに置かれた水槽に設置しないでください。ポンプが落ちたり、倒れたりしてケガをする恐れがあります。

ポンプは、安定した水平なところで振動がないところに置かれた水槽のコーナーに設置してください。





⚠ 注意

ポンプのアースを取り付けないで使用すると、感電する恐れがあります。

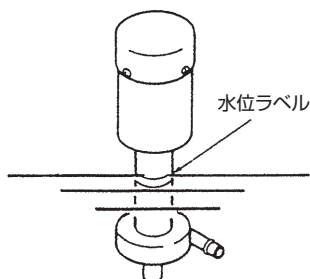
アースは必ず専用アース線に取り付けてください。

⚠ 注意

ポンプに漏電ブレーカーを取り付けないで使用すると、感電する恐れがあります。

ご使用の際は市販の漏電ブレーカーを取り付けてください。

運転について



① 各部の点検が終わりましたら、ポンプの水位ラベルまで水槽に水を入れてください。このラベル位置まで水が入っていませんと、ポンプが空運転となり水が出ないことがあります。

● 水位は、この水位ラベルの上下2 c m内としてください。

● 運転のときには常に水位ラベルまで、水を入れておいてください。水位ラベル以下になりますと水はねが起きて、モータ内に水が入り込み故障の原因となります。

② 水位ラベルまで水槽内に水を入れてから、電源コードの差し込みプラグを電源コンセント（交流100V）に差し込んで、ポンプを運転してください。

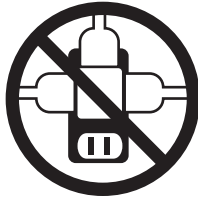
● 運転したとき、金属的な唸り音や、当たり音が聞こえたり、またポンプの振動により水面に波が立つときは異常がありますので、販売店にご相談ください。

● 寒冷期にポンプを始動する場合、周期的な共鳴音がすることがあります。また、規定の流量が出るまで多少時間がかかりますが異常ではありません。（そのまま運転を続けてください。しばらくすれば音はなくなります。）

● ポンプを初めて運転されるとき、規定の流量が出るまで多少時間がかかります。（約1分～5分）

● 流量が少ないまたは出ないときはケーシングに空気が入っていることがあります。空気を取り除いてから運転してください。

-
-
- 吸込み口に装着されたストレーナや吐出口に装着したフィルターに水アカなどが付着し詰まった場合、カラムの下窓(四角い開口部)より気泡が発生することがあります。水の循環性能が低下したり、気泡の巻き込みにより騒音が発生することもありますので、付着物を取り除いてご使用ください。(本書20、21ページ「お手入れのしかた」を参照してください。)



警告

本ポンプを交流 100V (50 または 60Hz) 以外で使用すると、故障や火災が生じる恐れがあります。

本ポンプは、100V (50 または 60Hz) 以外で使しないでください。



警告

延長コードを使用したりタコ足配線をする、火災が生じる恐れがあります。

延長コードの使用やタコ足配線はしないでください。

お手入れのしかた

本ポンプのお手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
また、ホースも外してください。

ポンプを逆さまにしないでください。



⚠ 警 告

海水に使用する際、モータ、カラム、電源プラグ、電源コードに塩が付着します。塩が付着したまま使用を続けると火災・感電・故障の原因となります。

定期的に（1か月に1度）やわらかい布などから拭きし、付着した塩を取り除いてください。

⚠ 注 意

電源プラグをコンセントに差し込んだままお手入れを行うと、感電などの恐れがあります。

電源プラグをコンセントに差し込んだままお手入れを行わないでください。

⚠ 注 意

ホースを接続したままお手入れを行うと、ホースが抜けて水漏れが生じる恐れがあります。

ホースを接続したままお手入れを行わないでください。

ポンプ外観の清掃

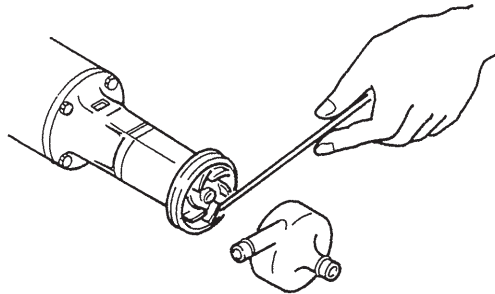


⚠ 注 意

ベンジン、シンナー、灯油、みがき粉、非中性洗剤などを使用すると、製品をいためる恐れがあります。水または中性洗剤以外は使用しないでください。

インペラ（羽根車）のお手入れ

- インペラに髪の毛やゴミ・水アカなどが付着しますと性能がおちますので、ときどきインペラの清掃を行ってください。



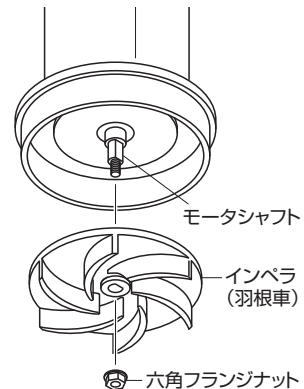
- P-315、425、450 型はインペラ（羽根車）を外して、清掃することができます。インペラを外す場合は、下記手順に従い分解・組立を行ってください。

〔分解〕

- ① インペラを固定している六角フランジナットをスパナで反時計回りに回して取り外します。
- ② インペラをモータシャフトから軸心方向にゆっくり引き抜いてください。

〔組立〕

- ① モータシャフトの平らにカットした位置にインペラの取付穴の穴形状を合わせ、差し込みます。
- ② 六角フランジナットのフランジ面（平らな面）をインペラ側にして、モータシャフトにねじ込み、スパナでしっかりと締め付けてください。



⚠ 注 意

海水に使用する場合、ポンプを海水から引き上げておくと海水の塩分が結晶します。

ポンプ、カラムに塩が付着したままの状態ですと起動不良、オーバーロードが発生し、故障の原因となります。

ポンプを海水から引き上げるときは、塩分が結晶する前に清水などで洗い流してください。

ストレーナ・エルボ・ストレーナパイプのお手入れ

- ストレーナやホース内部に水アカなどが付着しますと性能が低下しますので、よく内部を掃除してください。

- 各部のお手入れが終わりましたら「取り付け手順」に従い、ポンプを取り付けてください。

※ 1 度使用したポンプを長期保管したり、新品でも湿度の高い場所に保管すると故障の原因となることがあります。

故障の対処方法

修理を依頼される前に

本ポンプのご使用中に異常が生じた場合、お使いになるのをやめ、次の表で故障原因を確認してから、お求めになった販売店にご相談ください。



⚠ 警 告

ポンプを分解したり、改造したりすると火災や感電が生じる恐れがあります。

ポンプが故障したり、破損したら、すぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。

症 状	考えられる原因	対処方法
モータが回らない	● 停電または電圧が低い。 ● ブレーカーが作動している。 ● 電源プラグがコンセントから抜けている。 ● インペラにゴミが巻き付いている。 ● モータベアリングの寿命。 ● モータ劣化、焼損。 ● モータに水が入った、または水没してしまった。	○ 電気工事に相談してください。 ○ 電気工事に相談してください。 ○ 電源プラグをコンセントに確実に差し込む。 ○ ゴミを取り除く。 ○ 販売店に相談してください。 ○ 販売店に相談してください。 ○ 販売店に相談してください。
モータが回っても水がでない。または流量が少ない	● ホースがポンプ吐出口から外れている。 ● ホースがつぶれている。 ● ストレーナ、ホースにゴミが詰まっている。 ● インペラが空回りしている。 ● ケーシング内に空気が溜まっている。 ● 水と一緒に空気を吸込んでいる。 ● 水位が低い。 ● 揚程が高い。または配管が長すぎる。	○ ホースを確実に差し込む。 ○ つぶれないホースに交換する。 ○ ゴミを取り除く。 ○ 販売店に相談してください。 ○ 水中でエルボをケーシングから取り外し、空気を出す。 ○ ストレーナの近くでエアレーションをしない。 ○ 水位ラベルまで水槽に水を入れる。 ○ 仕様に合った配管にする。
音・振動がでる。	● ケーシングに異物（ゴミなど）が入っている。 ● インペラが破損している。 ● シャフトが曲がっている。 ● モータベアリングの寿命。 ● クランプの取り付けが悪い。	○ 異物を取り除く。 ○ 販売店に相談してください。 ○ 販売店に相談してください。 ○ 販売店に相談してください。 ○ 取り付け方法に従いしっかりと取り付ける。
通電中にモータが時々停止する	● 設置環境が悪い。 ● モータ異常。	○ 取り付け方法に従い設置しなおす。 ○ 販売店に相談してください。
モータが熱い	● このポンプは運転中モータ温度が上昇しますが正常です。	○ 通電中モータが時々停止するときは販売店に相談してください。

■ 仕様

50/60Hz

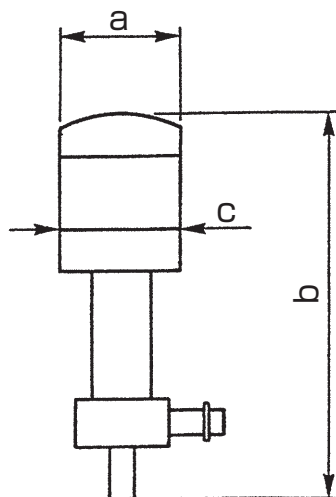
型 式	P-112S	P-315V	P-425V	P-450V
電 源	100V	100V	100V	100V
消費電力	9W/10W	28W/36W	37W/50W	38W/50W
最大吐出量	11 ℓ / 分 / 13 ℓ / 分	17 ℓ / 分 / 20 ℓ / 分	22 ℓ / 分 / 25 ℓ / 分	42 ℓ / 分 / 46 ℓ / 分
最高揚程	0.9m/1.3m	2.3m/3.3m	3.2m/4.4m	2.6m/3.7m
揚程 0.5m 時吐出量	5.5 ℓ / 9 ℓ	15 ℓ / 18 ℓ	18 ℓ / 22 ℓ	37 ℓ / 42 ℓ
接続ホース内径	φ 15mm	φ 15mm	φ 15mm	φ 19mm
コードの長さ	1.2m	2m	2m	2m
重 量	0.8kg	2.3kg	2.3kg	2.4kg

※最大吐出量は、配管（吸込み）ストレーナが取り付けいていないときの揚程 0m の流量です。

実際に配管して運転しますと、上記の最大吐出量より少なくなります。

※仕様の数値は、工場出荷時の平均性能値となります。よって、個体差により最高揚程± 7%、最大流量± 9% の誤差が発生する場合があります。

■ 外形寸法



(単位 mm)

	a	b	c
P-112S	φ 62	239	φ 60
P-315V	φ 85	321	φ 82
P-425V	φ 85	325.5	φ 82
P-450V	φ 85	323	φ 82

保証・サービスについて

1. 保証書について

保証書の「お買い上げ日」「販売店名」など所定事項の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みになった後、大切に保存してください。なお、保証書の再発行はいたしませんのでご注意ください。保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。保証期間経過後の修理については、下記の「2. 保証期間中の範囲と修理」の項をご覧ください。

2. 保証期間中の範囲と修理

- 1) 保証期間は納入の日から 1 年間です。
- 2) 保証期間中に、正常なご使用にもかかわらず、弊社の製作上の不備により故障や破損が発生した場合には、当製品の故障・破損箇所を無料修理させていただきます。
- 3) 次の原因による故障・破損の修理および消耗品の交換は有料とさせていただきます。
 - 保証期間満了後の故障・破損。
 - 正常でないご使用または保管による故障・破損。
 - 弊社指定品以外の部品をご使用の場合の故障・破損。
 - 火災、天災、地変などの災害および不可抗力による故障・破損。
- 4) お客様よりのご指定の規格、または材料を用いた製品が、故障・破損などを生じた場合、弊社ではその責に及びられませんのでご了承願います。
- 5) 取り扱い液の化学的、もしくは流動的な腐食、液質による異常・故障に対しては、弊社では補償いたしかねます。ご契約の際、弊社にて選定した材質については、推薦できる材質を意味し、その材質の耐食性などを保証するものではありませんのでご了承願います。
- 6) 故障・破損原因の判定に疑義が生じた場合は、お客様と弊社との協議の結果によるものとします。
- 7) ご使用中に発生した故障に起因する諸費用、その他の損害の補償はいたしかねますので、ご承知おき願います。

3. 修理について

ご使用中に異常を感じたときは、ただちに運転を停止して、故障か否かをご点検ください。（「修理を依頼される前に」の項を参照してください。）

- 1) 修理をご依頼される前に、再度この取扱説明書をよくお読みになり再点検してください。
- 2) 本機は訪問修理はいたしません。修理の際は、お求めになった販売店にご相談ください。
- 3) ご贈答・ご転居などで、お求めの販売店にご依頼できない場合は、直接当社にご相談ください。
- 4) 誤った修理は、火災や感電などの危険な事故につながります。ご家庭での分解修理は絶対になさらないでください。

合 格

本品は厳重なる品質管理のもとで製造され、
検査合格したことを証明いたします。

保 証 書

製 品 名	レイシーたて型ポンプ		
ご 購 入 日	年	月	日
取扱店			

- 保証期間はご購入の日から1年です。
- 保証期間中に、正常なご使用かつ適正なメンテナンスをされているにもかかわらず当社の設計、製作上の不備により故障や破損が発生した場合には、故障または破損箇所を無料修理させていただきます。
- 次の原因による故障・破損の修理および交換は有料とさせていただきます。
 - ①保証期間満了後の故障・破損。
 - ②取扱いの不注意や正常でないご使用または保管による故障・破損。
 - ③水でぬらした場合の故障。
 - ④当社指定品以外の部品をご使用の場合の故障・破損。
 - ⑤当社または当社指定業者以外の修理・改造による故障・破損。
 - ⑥火災・天災・地変などの自然災害および不可抗力による故障・破損。
 - ⑦保証書に購入店の捺印がない場合。
 - ⑧保証書の提示がない場合。
- 本製品の故障による損害、その他本製品を使用することによって生じた損害について、弊社は一切その責任を負いかねますので、ご了承ください。

(注意) ※ 保証書は大切にご保存願います。万一紛失されても再発行いたしませんので、ご注意ください。

※ アフターサービスのご連絡は購入された取扱店にお問い合わせください。

REI-SEA



株式会社 イワキ





T36-25 (21/04)

株式会社 イワキ 東京支店2部4課 レイシー担当
<http://rei-sea.iwakipumps.jp/>



関東地区・甲信地区・静岡・愛知・三重・岐阜
TEL 03-5825-2141 FAX 5825-2144
〒101-0031
東京都千代田区東神田2丁目5-15 住友生命東神田ビル11F

関西地区／大阪支店 TEL 06-6943-6444 FAX 6920-5033
九州沖縄地区／九州支店 TEL 093-541-1636 FAX 551-0053
東北地区／仙台支店 TEL 022-374-4711 FAX 371-1017
中国地区／広島営業所 TEL 082-271-9441 FAX 273-1528

北陸地区／新潟営業所 TEL 025-284-1521 FAX 282-2206
四国地区／高松営業所 TEL 087-834-2177 FAX 863-3205
北海道地区／札幌営業所 TEL 011-704-1171 FAX 704-1077



輸出に係るご注意

本製品は日本国内用に設計されています。国外でのご使用は保証いたしかねます。本取扱説明書における使用の技術に関しては、外国為替令別表に定められた役務取引許可対象技術のいずれかに該当いたします。輸出または国内であっても輸出に係る提供の際は、経済産業省の役務取引許可が必要となる場合がありますのでご注意ください。

This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.